



第 12 回 標準処方研究フォーラム

～連続生産に於ける種々の課題へのアプローチ～

本研究フォーラムでは過去 4 年間、連続生産をテーマとして各社で各種立会実験を行ってきました。本年度は、その総括及び今年度のテーマである各連続生産システムでのスケール範囲に着目した実験結果を公表したいと思っております。本年度より実行委員長制とし、今回は谷野忠嗣委員長のもと松山で開催致します。また、解説講演としては、この分野に積極的に取り組まれている、加納先生から管理戦略に関する解析・制御技術についてお話をいただきます。昨年度より加わった直打を目指すメンバーからの実験報告も含まれ、益々多岐に亘るものとなっております。是非ご参加いただきますようにご案内させていただきます。

と き	令和 元年 11 月 22 日(金)
	講演会 10:00～17:15 懇親会 17:30～
と ころ	講演会:松山大学 文京キャンパス 8号館 懇親会:松山大学 樋又キャンパス 1階「Le Repas (ル・ルパ)」 〒790-8578 愛媛県松山市文京町 4 番地 2 電話:089-925-7111(代表)
主 催	(一社)粉体工学会・製剤と粒子設計部会
共 催	(一社)粉体工業技術協会・粒子加工技術分科会
参 加 費	講演会 <u>主催・共催学協会員</u> 会社関係 ￥ 13,000 大学・公立研究機関関係 ￥ 8,000 学生 ￥ 4,000 <u>非会員</u> ￥ 20,000 交流会 ￥ 5,000
振 込 先	金融機関 十六銀行黒野支店 口座名 <small>せいざいとりゅうしせつけいぶかい ひょうじゆんしよほうふ おーらむ だいひょう たけうちひろふみ</small> 製剤と粒子設計部会 標準処方フォーラム 代表 竹内洋文 口座番号 (普)1557481 ※ 11 月 13 日(水)までに、お振込みください。
申 込 方 法	必要事項(別紙参照)を記入の上、E-Mail によりお申込みください。 E-Mail: hyousyo2019@gmail.com
申 込 締 切	令和 元年 11 月 5 日 (定員 150 名になり次第締め切らせていただきます)
問 合 せ 先	〒502-8585 岐阜市三田洞東 3-6-1 岐阜薬科大学先進製薬プロセス工学研究室内 粉体工学会製剤と粒子設計部会事務局 松井智代 e-mail matsui-to@gifu-pu.ac.jp ☎ 058-237-8572
パ ネ ル 展 示	申し込み締め切り; 令和元年 11 月 5 日(月)、1 ブース ¥20,000-
同 時 募 集	詳細は、上記までお問い合わせください。

－プログラム－

総合司会 中村 承平（松山大学・薬）

- 10:00～10:05 開会の挨拶 竹内 洋文(製剤と粒子設計部会 部会長、岐阜薬科大学)
- 10:05～10:55 基調講演 座長 則岡 正（アステラス）
『標準処方研究会における連続生産検討の総括』
山田 昌樹（シミック CMO）
- 10:55～11:15 令和元年度 立会実験概要 座長 鞆野澤 一臣(フロイント産業) 星野 貴史(信越化学工業)
- 11:15～11:35 企業展示・紹介
- 11:35～13:00 昼食・パネル展示
- 13:00～14:30 各社での検討報告(各演題30分) 座長 坂本 宜俊(松山大学・薬)
- 1)フロイント産業での検討 寺田 敬(フロイント産業)、大島 孝雄(科研製薬)
- 2)パウレックでの検討 松井 航(パウレック)、石川 達也(武田コンシューマーヘルスケア)
- 3)ダルトンでの検討 浅井直親(ダルトン)、伊藤 彰彦(日本曹達)
- 14:30～14:45 休憩
- 14:45～15:15 4)菊水製作所での検討 座長 武田 泰浩(キッセイ薬品工業)
伏見伸介(菊水製作所)、山田昌樹(シミック CMO)
- 15:15～15:45 総合まとめ報告 渡邊 鉄太郎(杏林製薬)
- 15:45～16:30 解説講演 座長 竹内 洋文(岐阜薬科大学)
『連続生産の管理戦略に資するデータ解析・制御技術』
加納 学(京都大学)
- 16:30～17:10 総合討論 座長 谷野 忠嗣(沢井製薬)
- 17:10～17:15 閉会の挨拶 砂田 久一(名城大学 薬)
- 17:30～ 交流会 樋又キャンパス 「Le Repas (ル・ルパ)」